



平成28年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年8月14日

上場会社名 株式会社 フライトホールディングス
 コード番号 3753 URL <http://www.flight-hd.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 代表取締役副社長
 四半期報告書提出予定日 平成27年8月14日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 片山 圭一郎
 (氏名) 松本 隆男

TEL 03-3440-6100

上場取引所 東

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第1四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第1四半期	183	△49.1	△143	—	△152	—	△153	—
27年3月期第1四半期	359	—	△7	—	△15	—	△15	—

(注) 包括利益 28年3月期第1四半期 △153百万円 (—%) 27年3月期第1四半期 △15百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第1四半期	△16.23	—
27年3月期第1四半期	△1.66	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
28年3月期第1四半期	1,174	320	27.3	33.89
27年3月期	1,446	473	32.8	50.12

(参考) 自己資本 28年3月期第1四半期 320百万円 27年3月期 473百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
28年3月期	—	—	—	—	—
28年3月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	480	△27.2	△250	—	△270	—	△270	—	△28.55
通期	2,100	31.9	60	—	30	—	25	—	2.64

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料P. 2「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	28年3月期1Q	9,456,500 株	27年3月期	9,456,500 株
② 期末自己株式数	28年3月期1Q	829 株	27年3月期	829 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	28年3月期1Q	9,455,671 株	27年3月期1Q	9,455,671 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	2
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	2
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	2
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	2
3. 四半期連結財務諸表	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	4
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	4
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(セグメント情報等)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の経済政策等により雇用及び所得環境が改善され、緩やかな回復基調にありますが、新興国経済の減速懸念や欧州債務問題等により、先行き不透明な状況にあります。このような状況の中、当社グループは、物流企業向けのシステム開発や社会保障・税番号制度（マイナンバー）対応に係るシステム開発支援等を行うとともに、電子決済ソリューション（「Incredist」及び「ペイメント・マイスター」）の販売及び次世代機の開発に注力いたしました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高183百万円（前年同期比49.1%減）、営業損失は143百万円（前年同期は営業損失7百万円）、経常損失は152百万円（前年同期は経常損失15百万円）、親会社株主に帰属する四半期純損失は153百万円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失15百万円）となりました。

（単位：百万円）

	当第1四半期 連結累計期間	前第1四半期 連結累計期間	前年同期比	
			増減額	増減率
C&S事業(*)	120	124	△4	△3.5%
サービス事業	62	235	△172	△73.5%
ECソリューション事業	5	—	5	—
調整額	△5	—	△5	—
売上高	183	359	△176	△49.1%
C&S事業(*)	△9	△8	△1	—
サービス事業	△46	52	△99	—
ECソリューション事業	△19	—	△19	—
調整額	△67	△51	△16	—
営業損益	△143	△7	△136	—
経常損益	△152	△15	△137	—
親会社株主に帰属する四半期純損益	△153	△15	△137	—

(*) C&S事業：コンサルティング&ソリューション事業

セグメントの業績は次のとおりであります。

① コンサルティング&ソリューション事業

コンサルティング&ソリューション事業においては、既存顧客を中心としたシステム開発及び保守、物流企業向けのシステム開発並びに社会保障・税番号（マイナンバー）対応に係るシステム開発支援等を行いました。

引き合い状況は堅調であり、売上及び営業損益は概ね計画通り進捗しております。

以上の結果、売上高は120百万円（前年同期比3.5%減）、営業損失は9百万円（前年同期は営業損失8百万円）となりました。

② サービス事業

サービス事業においては、電子決済ソリューション（「Incredist」及び「ペイメント・マイスター」）の販売・提案活動、並びに「Incredist」の次世代機の開発に注力いたしました。

前第1四半期に大型案件の追加納品があったことから、前年同期比では減収減益となりましたが、前期以前に納品した大型案件の保守対応により、売上及び営業利益は概ね計画通り進捗しております。

以上の結果、売上高は62百万円（前年同期比73.5%減）、営業損失は46百万円（前年同期は営業利益52百万円）となりました。

③ ECソリューション事業

ECソリューション事業においては、B2B向けECサイト構築パッケージ「EC-Rider B2B」の営業・提案活動に注力いたしました。

収支につきましては、事業立ち上げのため、固定費が先行して発生しており、営業損失を計上することとなりました。

以上の結果、売上高は5百万円、営業損失は19百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末と比べ272百万円減少し、1,174百万円となりました。主な増減要因は、売掛金の減少（340百万円減）、現金及び預金の増加（17百万円増）であります。

負債は、前連結会計年度末と比べ118百万円減少し、853百万円となりました。主な増減要因は、買掛金の減少（146百万円減）であります。

純資産は、前連結会計年度末と比べ153百万円減少し、320百万円となりました。主な増減要因は、親会社株主に帰属する四半期純損失の計上（153百万円）であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、概ね当初計画通りに進捗していることから、平成27年5月19日の「平成27年3月期決算短信」で公表した第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（企業結合に関する会計基準等の適用）

「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 平成25年9月13日）、「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成25年9月13日）及び「事業分離等に関する会計基準」（企業会計基準第7号 平成25年9月13日）等を、当第1四半期連結会計期間から適用し、四半期純利益等の表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第1四半期連結累計期間については、四半期連結財務諸表の組替えを行っております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	704,845	721,886
売掛金	392,062	51,663
商品	11,269	10,316
仕掛品	21,663	22,082
その他	43,351	96,839
貸倒引当金	△700	△100
流動資産合計	1,172,492	902,687
固定資産		
有形固定資産	4,632	5,022
無形固定資産		
のれん	13,777	13,025
その他	15,387	13,975
無形固定資産合計	29,164	27,001
投資その他の資産		
長期貸付金	75,000	75,000
投資不動産(純額)	196,447	196,175
その他	43,397	43,217
貸倒引当金	△75,000	△75,000
投資その他の資産合計	239,844	239,393
固定資産合計	273,642	271,417
資産合計	1,446,134	1,174,105
負債の部		
流動負債		
買掛金	167,608	21,057
短期借入金	484,348	467,473
未払法人税等	3,426	2,592
賞与引当金	4,810	2,562
受注損失引当金	10,500	—
その他	54,441	116,760
流動負債合計	725,134	610,445
固定負債		
長期借入金	236,459	232,907
その他	10,599	10,318
固定負債合計	247,058	243,225
負債合計	972,192	853,670
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,205,123	1,205,123
資本剰余金	1,195,798	1,195,798
利益剰余金	△1,925,704	△2,079,211
自己株式	△1,275	△1,275
株主資本合計	473,942	320,435
純資産合計	473,942	320,435
負債純資産合計	1,446,134	1,174,105

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)
売上高	359,725	183,153
売上原価	259,262	174,264
売上総利益	100,463	8,888
販売費及び一般管理費	107,645	152,861
営業損失(△)	△7,181	△143,973
営業外収益		
受取利息	379	370
受取賃貸料	533	555
その他	36	46
営業外収益合計	949	972
営業外費用		
支払利息	3,205	7,651
不動産賃貸原価	1,175	1,155
その他	4,759	618
営業外費用合計	9,140	9,425
経常損失(△)	△15,373	△152,426
税金等調整前四半期純損失(△)	△15,373	△152,426
法人税、住民税及び事業税	360	1,081
法人税等合計	360	1,081
四半期純損失(△)	△15,733	△153,507
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△15,733	△153,507

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)
四半期純損失(△)	△15,733	△153,507
四半期包括利益	△15,733	△153,507
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△15,733	△153,507

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	コンサルティング &ソリューション事業	サービス事業			
売上高					
外部顧客への売上高	124,457	235,267	359,725	—	359,725
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	124,457	235,267	359,725	—	359,725
セグメント利益又は損 失(△)	△8,532	52,842	44,309	△51,491	△7,181

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△51,491千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	コンサルティング &ソリューション 事業	サービス事業	ECソリューション事業			
売上高						
外部顧客への 売上高	120,077	62,430	645	183,153	—	183,153
セグメント間の 内部売上高 又は振替高	—	—	5,167	5,167	△5,167	—
計	120,077	62,430	5,812	188,320	△5,167	183,153
セグメント損失 (△)	△9,784	△46,695	△19,547	△76,027	△67,946	△143,973

(注) 1. セグメント損失(△)の調整額△67,946千円は、セグメント間取引消去74千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△68,020千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

前第3四半期連結会計期間において、第三者割当増資引受けにより子会社化した株式会社イーシー・ライダー(平成26年11月1日付で「株式会社DRAGON TECHNOLOGY」より商号変更)の事業を「ECソリューション事業」として、前第3四半期連結会計期間より、新たに報告セグメントの区分に追加することといたしました。

「ECソリューション事業」は、B2B向けECサイト構築パッケージ「EC-Rider B2B」の開発及び販売、並びに本パッケージ導入に係るコンサルティングやシステム開発及び保守を行っております。